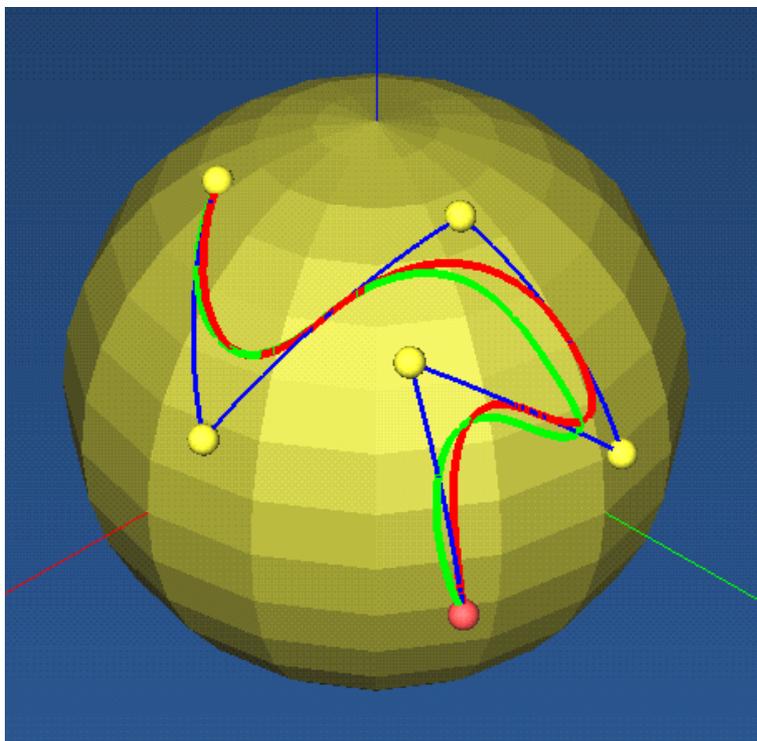


# 情報工学

2023年度後期 第6回 [11月29日]

---



静岡大学  
工学研究科機械工学専攻  
ロボット・計測情報講座  
創造科学技術大学院  
情報科学専攻

三浦 憲二郎

# 情報工学CGパート試験

---

- 日時 **12月6日(水)** 午前10:20~11:50
- 場所 工学部1号館32号室

# 講義アウトライン [11月29日]

---

- ビジュアル情報処理
  - 2 モデリング
    - 2.3 曲線・曲面
- OpenGL
  - 色の取り扱い
  - シェーディング
  - 照明モデルと照光処理

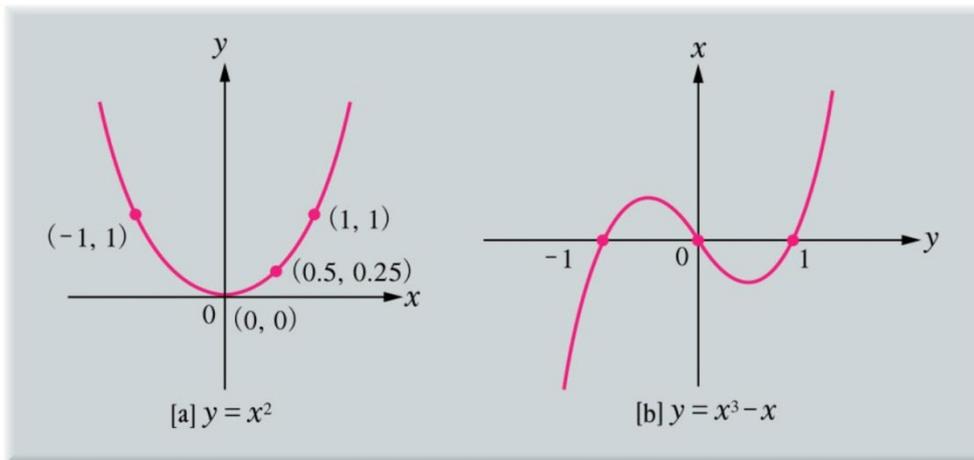
拡散光  
鏡面光  
環境光

# ビジュアル情報処理

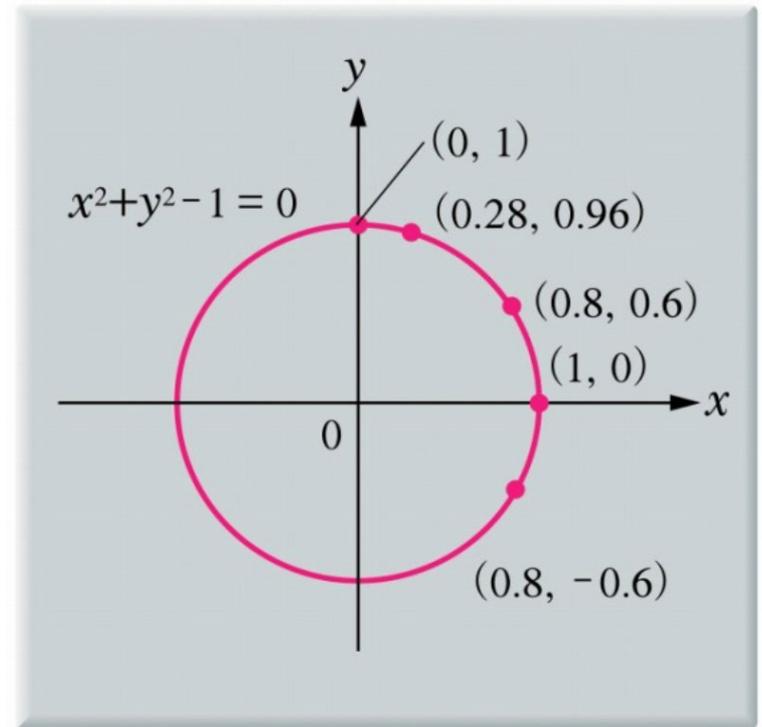
## •2-3 曲線・曲面

### •2-3-1 曲線の表現形式

■図3.9——陽関数表現の例



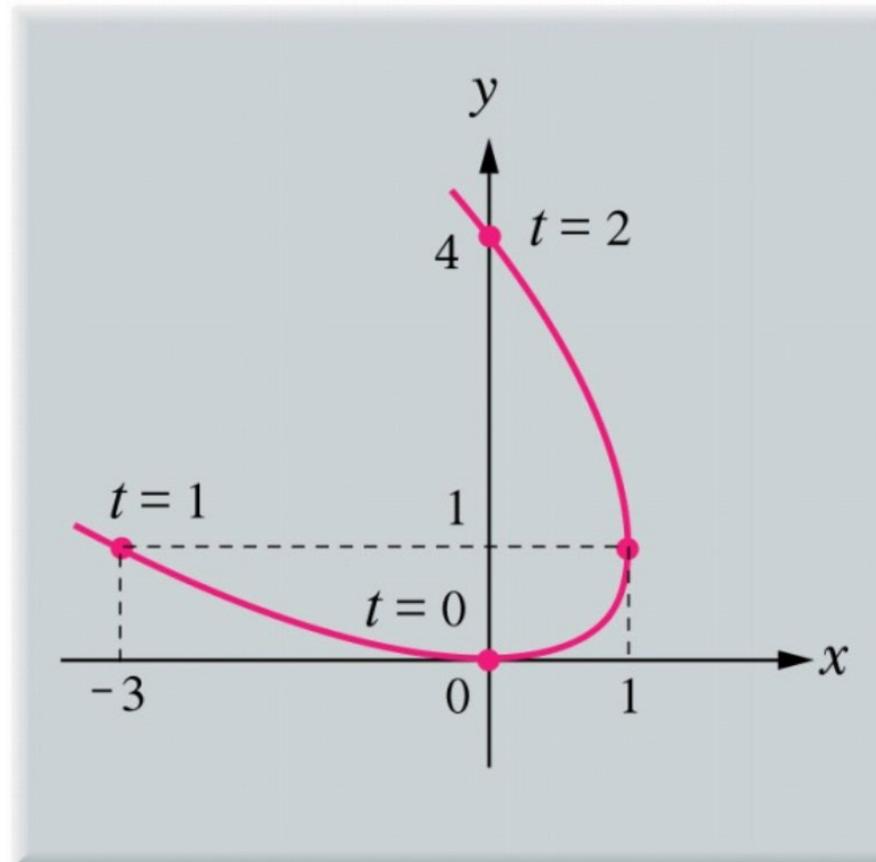
■図3.10——陰関数表現の例



# ビジュアル情報処理

## •2-3-1 [2] パラメトリック表現

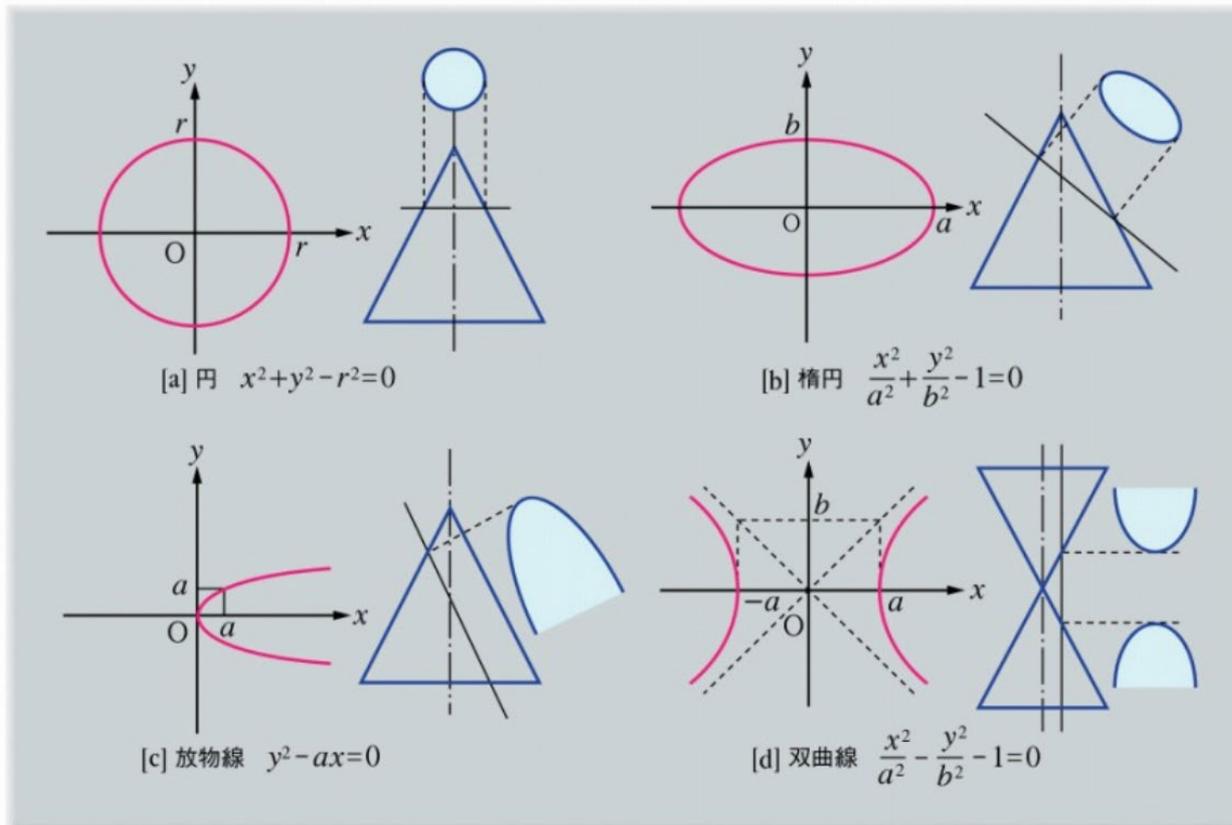
■図3.11——パラメトリック表現の例



# ビジュアル情報処理

## •2-3-2 2次曲線

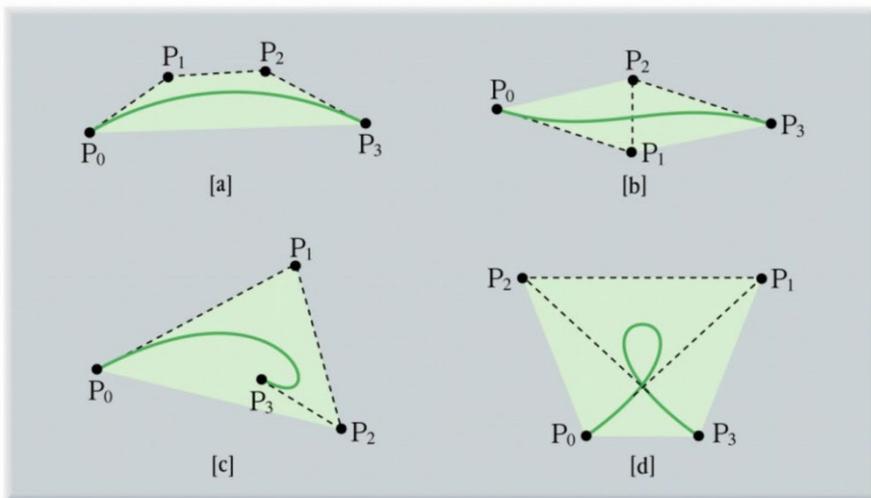
■図3.12——2次曲線の種類と円錐面との関係



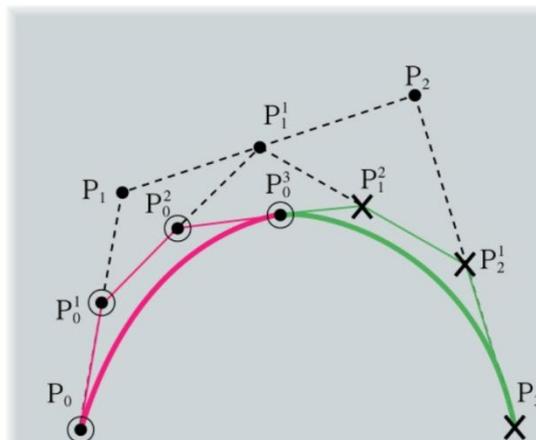
# ビジュアル情報処理

## •2-3-3 パラメトリック曲線 ベジエ曲線

■図3.13——3次ベジエ曲線の例



■図3.14——細分割法による3次ベジエ曲線の例

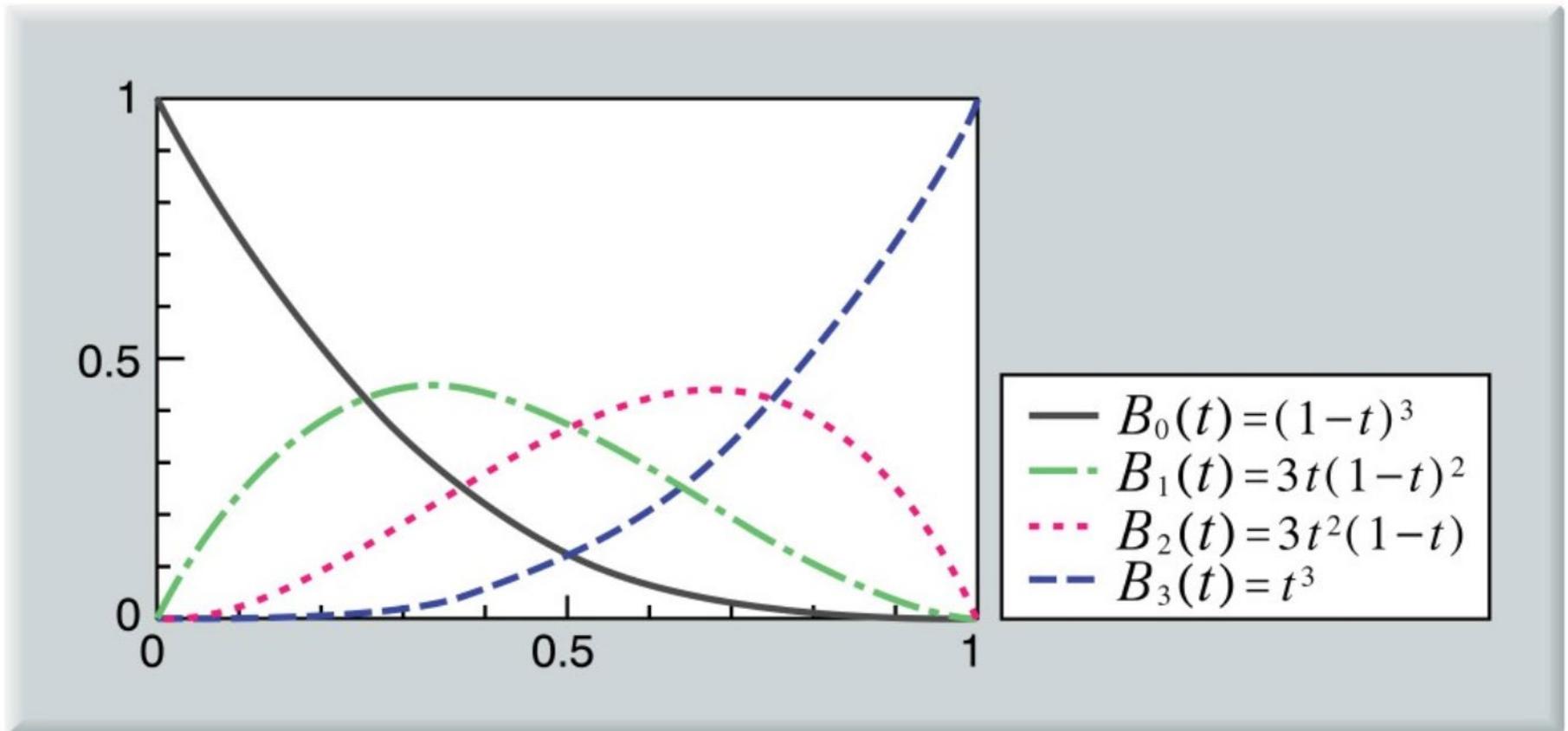


- [1] まず、線分 $P_0P_1$ ,  $P_1P_2$ ,  $P_2P_3$ のそれぞれの中点を求め、順に $P_0^1$ ,  $P_1^1$ ,  $P_2^1$ とする。
- [2] つぎに、線分 $P_0^1P_1^1$ ,  $P_1^1P_2^1$ のそれぞれの中点を求め、順に $P_0^2$ ,  $P_1^2$ とする。
- [3] 最後に、線分 $P_0^2P_1^2$ の中点を求め、これを $P_0^3$ とする。
- [4] このとき、 $P_0^3$ はベジエ曲線上の点となり、この点で曲線を二分できる。そして曲線の前半部分は4点 $P_0$ ,  $P_0^1$ ,  $P_0^2$ ,  $P_0^3$ を制御点とするベジエ曲線となり、後半部分は4点 $P_0^3$ ,  $P_1^1$ ,  $P_1^2$ ,  $P_3$ を制御点とするベジエ曲線となる。

# ビジュアル情報処理

## •2-3-3 パラメトリック曲線 ベジエ曲線

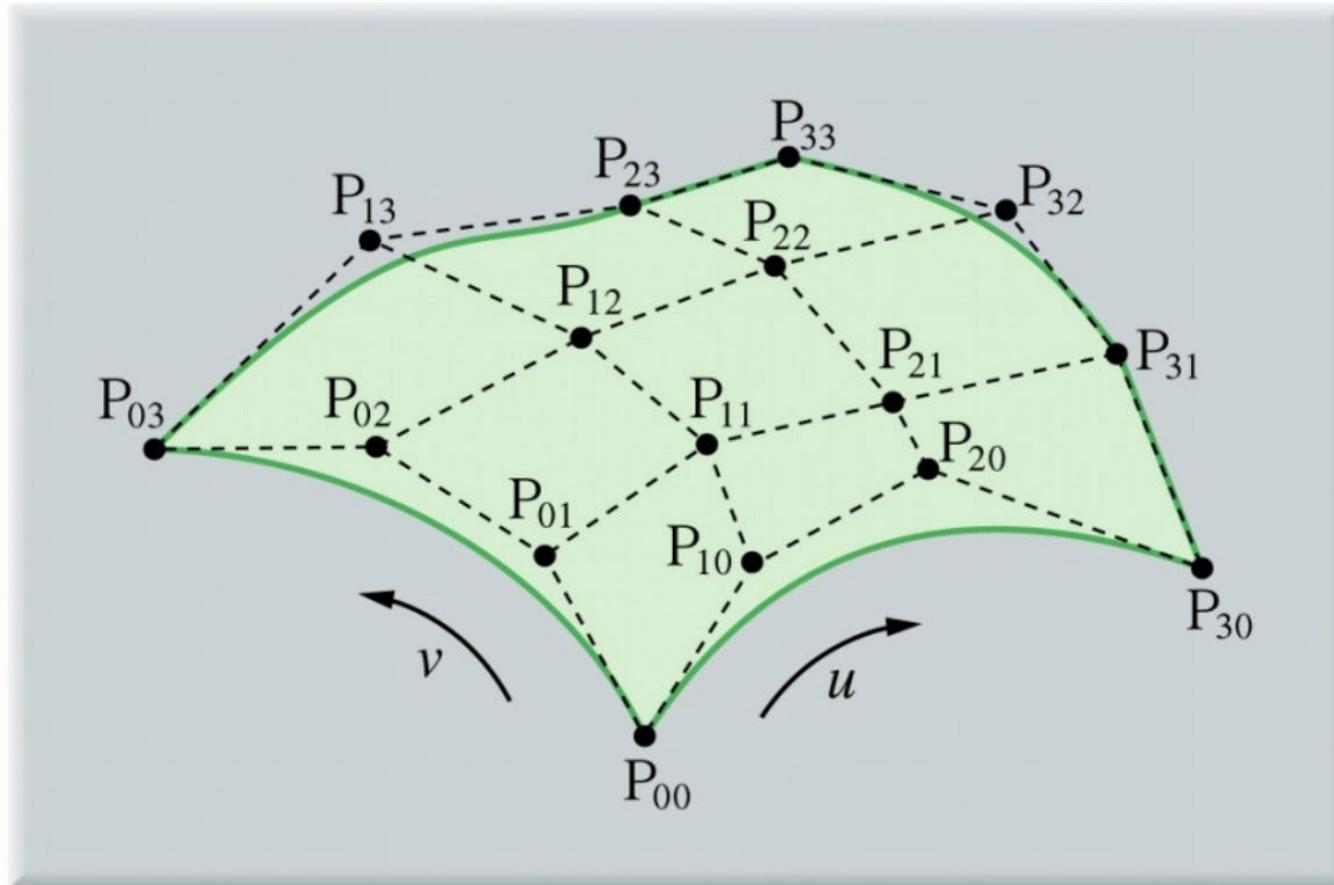
■図3.15——3次バーンスタイン基底関数のグラフ



# ビジュアル情報処理

## •2-3-4 パラメトリック曲面 ベジエ曲面

■図3.17——双3次ベジエ曲面



# OpenGL:色の取り扱い

---

## 1. RGBAモード

R, G, B, A ごとに値を指定

```
glutInitDisplayMode (GLUT_RGB) ;
```

## 2. カラーインデックスモード

各色に対応するインデックスナンバーを指定

```
glutInitDisplayMode (GLUT_INDEX) ;
```

# RGBAモード

---

void

glColor3{b s i f d ub us ui}(TYPE r, TYPE g, TYPE b)

void

glColor4{b s i f d ub us ui}(TYPE r, TYPE g, TYPE b,  
TYPE a)

b: byte, s: short, i: integer, f: float, d: double

ub: unsigned byte, us: unsigned short, ui: unsigned int

0 <= float, double value <= 1

a: アルファ値 色の「混合処理」, 「変調処理」

# シェーディング

---

## 1. フラットシェーディング

立体の面や線を単一の色で描画する方法

## 2. スムースシェーディング

複数の色を補間して描画する方法

```
void glShadeModel (GLenum mode)
```

```
mode: GL_FLAT, GL_SMOOTH
```

# 照明

---

## 1. 環境光 (ambient light)

何度となく反射を繰り返す、方向を特定できない光

## 2. 拡散光 (diffuse light)

すべての方向に均一に散乱する光

## 3. 鏡面光 (specular light)

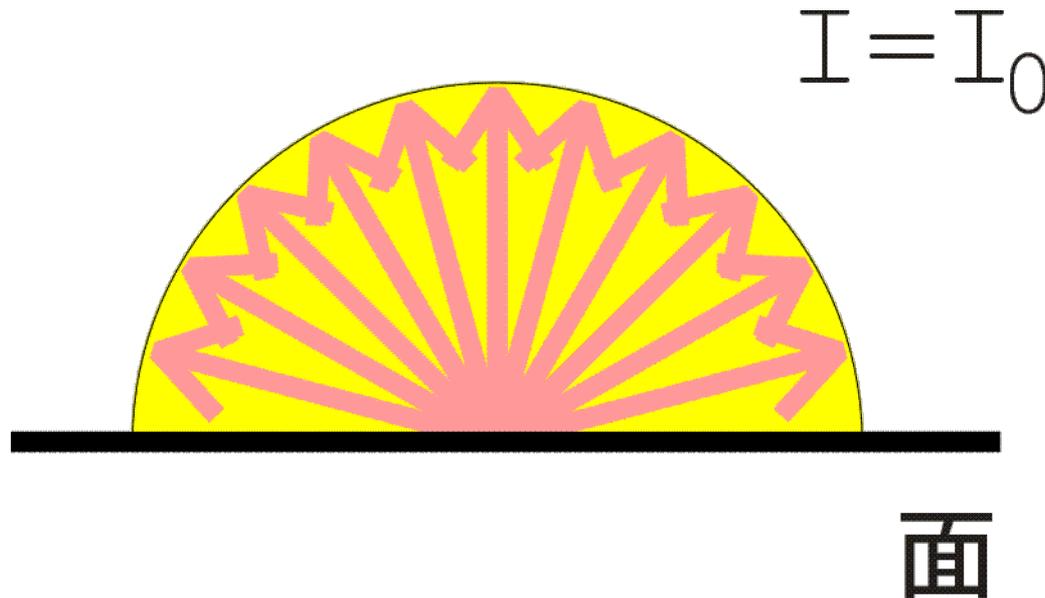
照明に対して特定の方向に強く反射する光

# 環境光

---

## 1. 環境光 (ambient light)

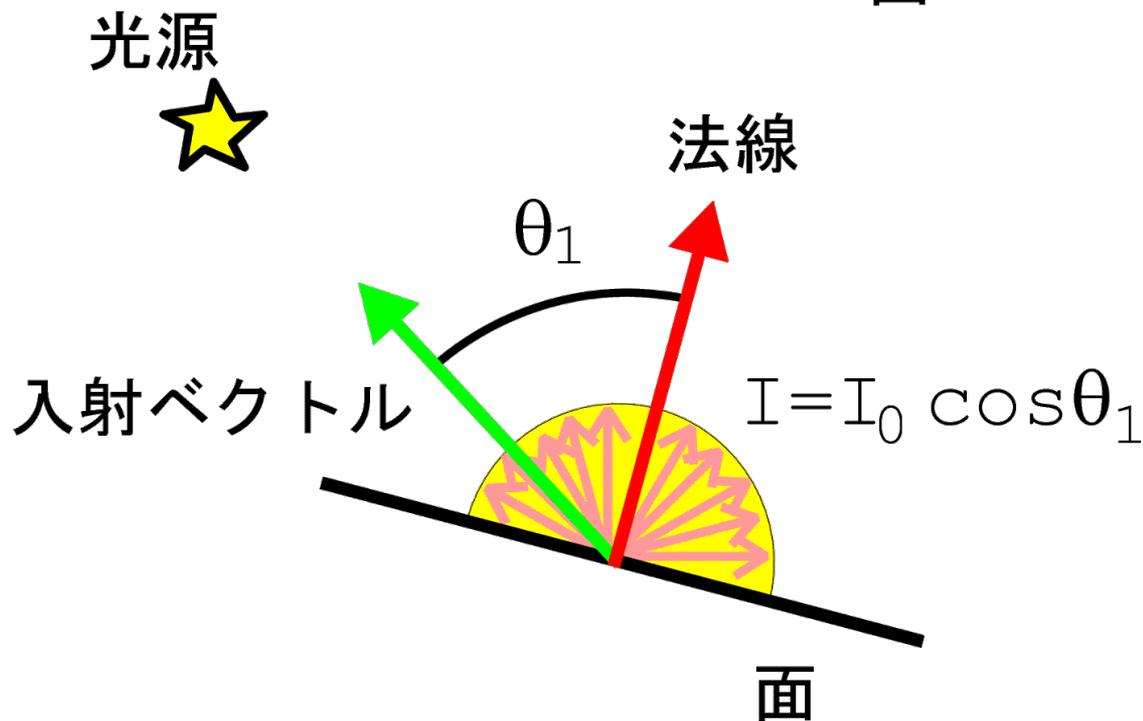
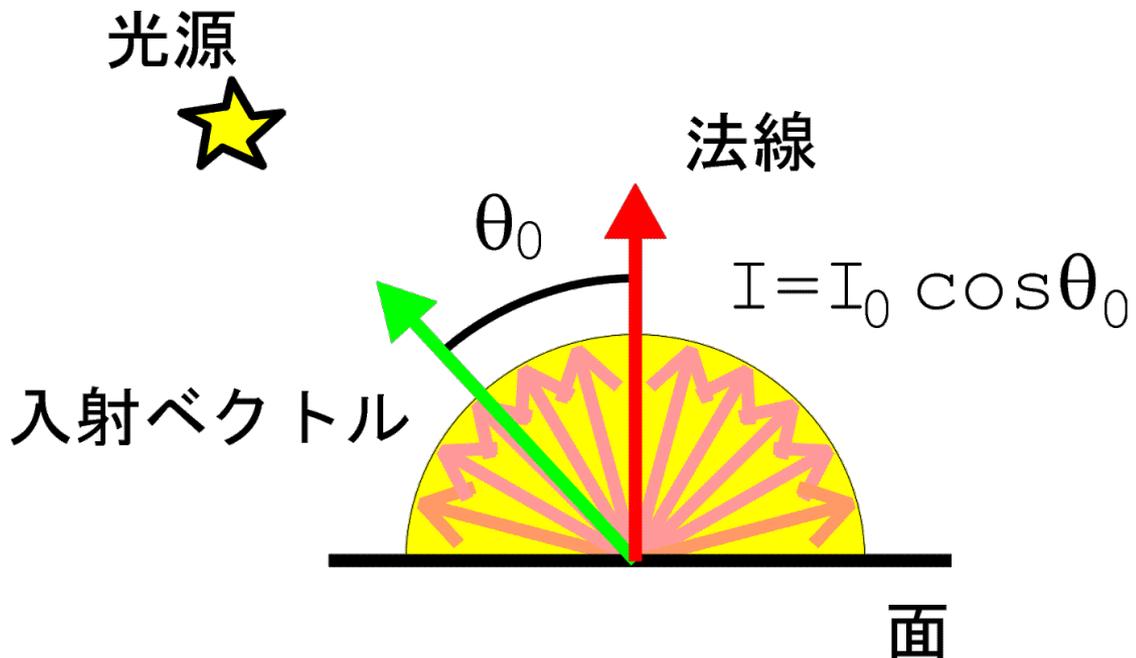
何度となく反射を繰り返し, 方向を特定できない光



# 拡散光

## 2. 拡散光 (diffuse light)

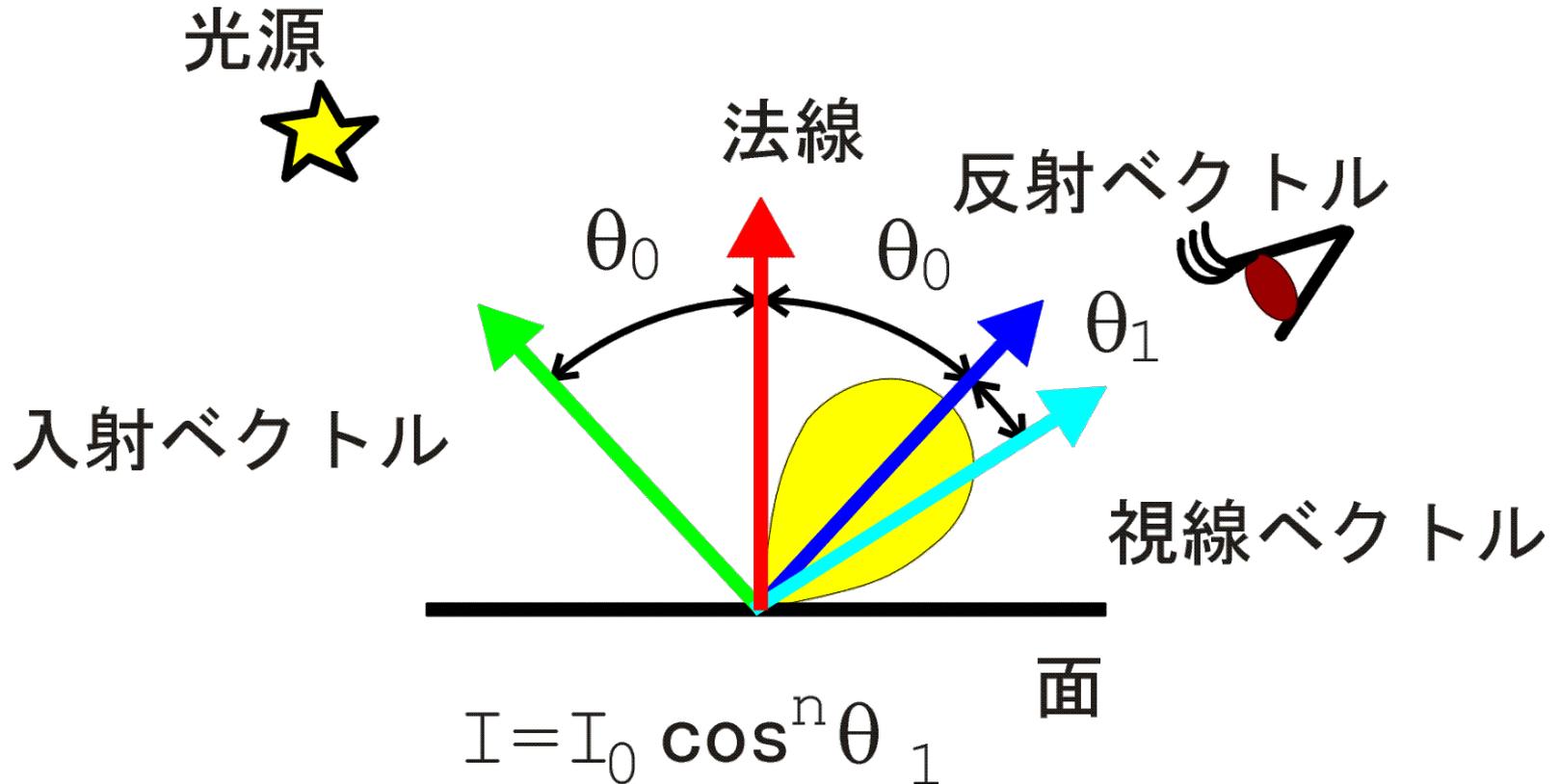
すべての方向に均一に  
散乱する光



# 鏡面光

## 3. 鏡面光 (specular light)

照明に対して特定の方向に強く反射する光



# 照明の数と属性

---

GL\_LIGHT0, GL\_LIGHT1, ... , GL\_LIGHT7

少なくとも8個の照明が使える。

void

```
glLight{if}[v](GLenum light, GLenum pname,  
               TYPE param)
```

例

```
GLfloat color[] = {1.0f, 0.0f, 0.0f, 1.0f};  
glLightfv(GL_LIGHT0, GL_DIFFUSE, color);
```

# glLight\*()の引数 pname

---

パラメータ名	初期値	意味
GL_DIFFUSE	(1.0, 1.0, 1.0, 1.0)	拡散光のRGBA値
GL_SPECULAR	(1.0, 1.0, 1.0, 1.0)	鏡面光のRGBA値
GL_AMBIENT	(0.0, 0.0, 0.0, 1.0)	環境光のRGBA値
GL_POSITION	(0.0, 0.0, 1.0, 0.0)	照明の位置 (x, y, z, w)

注意: 照明の位置の w 座標値が 0 の場合は無限遠  
したがって, 平行光線  
0 でない場合は点光源

# 照光処理の有効化

---

## 有効化

```
glEnable (GL_LIGHTING) ;
```

```
glEnable (GL_LIGHT0) ;
```

```
/* glColor* ()による色の指定は無効 */
```

## 無効化

```
glDisable (GL_LIGHTING) ;
```

```
/* glColor* ()による色の指定が有効 */
```

# 光の減衰

---

平行光線の光は距離による輝度の減衰はない。

点光源の場合, 距離  $d$  によって輝度が減衰する。

$$\text{減衰係数} = \frac{1}{k_c + k_l d + k_q d^2}$$

**kc:GL\_CONSTANT\_ATTENUATION**

**kl:GL\_LINEAR\_ATTENUATION**

**kq:GL\_QUADRATIC\_ATTENUATION**

# 材質の色

---

照明の 拡散光, 鏡面光, 環境光 に対する材質の特性  
+  
放射光

`void`

```
glMaterial{if}[v] (GLenum face, GLenum pname,  
                  TYPE param)
```

例

```
GLfloat color[] = {1.0f, 0.0f, 0.0f, 1.0f};  
glMaterialfv(GL_FRONT, GL_DIFFUSE, color);
```

# glMaterial\*()の引数 pname

---

パラメータ名	初期値	意味
GL_DIFFUSE	(0.8, 0.8, 0.8, 1.0)	拡散光のRGBA値
GL_SPECULAR	(0.0, 0.0, 0.0, 1.0)	鏡面光のRGBA値
GL_AMBIENT	(0.2, 0.2, 0.2, 1.0)	環境光のRGBA値
GL_SHININESS	0.0	鏡面の指数
GL_EMISSION	(0.0, 0.0, 0.0, 1.0)	放射光のRGBA値

0.0 <= GL\_SHININESS <= 128.0

# 面の法線ベクトルの指定

---

`void`

```
glNormal3{bsidf} (TYPE nx, TYPE ny,  
                  TYPE nz)
```

`b, s, i` の場合は, 各値の範囲を $[-1.0, 1.0]$ に縮小ベクトル版 `glNormal3{bsidf}v()` も存在する.

# 頂点カラーの計算

---

頂点カラー = その頂点での材質からの放射 +  
その頂点での材質の環境特性で測られる  
グローバル環境光 +  
適切に減衰した, すべての光源からの  
環境, 拡散, 鏡面光

照光計算を実行した後, カラー値は  $[0, 1]$  の範囲にクランプ  
(RGBAモード)

# 材質放射

---

頂点カラー = **その頂点での材質からの放射** +  
その頂点での材質の環境特性で測られる  
グローバル環境光 +  
適切に減衰した, すべての光源からの  
環境, 拡散, 鏡面光

パラメータ `GL_EMISSION` に割り当てられたRGB値  
`glMaterialfv(GL_EMISSION, color);`

# グローバル環境光

---

頂点カラー = その頂点での材質からの放射 +  
その頂点での材質の環境特性で測られる  
グローバル環境光 +  
適切に減衰した, すべての光源からの  
環境, 拡散, 鏡面光

グローバルな環境光 と

```
glLightModelfv(GL_LIGHT_MODEL_AMBIENT, color0);
```

材質の環境特性 の積

```
glMaterialfv(GL_AMBIENT, color1);
```

RGB値, 別々に計算

# 光源からの影響

---

頂点カラー = その頂点での材質からの放射 +  
その頂点での材質の環境特性で測られる  
グローバル環境光 +  
適切に減衰した, すべての光源からの  
環境, 拡散, 鏡面光

光源からの影響 = 減衰係数 \* スポットライト効果 \*  
(環境光の項 + 拡散光の項 + 鏡面光の項)

環境, 拡散, 鏡面光の項:

照明の各成分 と 材質の各成分 の 積

# rotCube.cのinitLights()

```
void
initLights (void)
{
    GLfloat light0_diffuse[] = {0.9, 0.9, 0.9, 1.0}; /* 拡散成分 */
    GLfloat light1_diffuse[] = {0.5, 0.5, 0.5, 1.0}; /* 拡散成分 */
    GLfloat light_specular[] = {0.3, 0.3, 0.3, 1.0}; /* 鏡面成分 */
    GLfloat lmodel_ambient[] = {0.2, 0.2, 0.2, 1.0}; /* 周囲光 */

    glLightModelfv (GL_LIGHT_MODEL_AMBIENT, lmodel_ambient );

    glLightfv ( GL_LIGHT0, GL_DIFFUSE, light0_diffuse );
    //glLightfv ( GL_LIGHT1, GL_SPECULAR, light_specular );

    glLightfv ( GL_LIGHT1, GL_DIFFUSE, light1_diffuse );
    glLightfv ( GL_LIGHT1, GL_SPECULAR, light_specular );

    glLightfv ( GL_LIGHT2, GL_DIFFUSE, light1_diffuse );
    glLightfv ( GL_LIGHT2, GL_SPECULAR, light_specular );

    glEnable ( GL_LIGHTING );
    glEnable ( GL_LIGHT0 );
    glEnable ( GL_LIGHT1 );
    glEnable ( GL_LIGHT2 );
}
```

# rotCube.cのourDisplay()

---

```
void
ourDisplay(void)
{
    GLfloat material_color[4]={1.0, 0.0, 0.0, 1.0};/*拡散光成分*/
    GLfloat material_specular[4]={0.2, 0.2, 0.2, 1.0};/*鏡面光成分*/

    /* バッファのクリア */
    glClear(GL_COLOR_BUFFER_BIT | GL_DEPTH_BUFFER_BIT);

    /* 鏡面光成分のセット */
    glMaterialfv(GL_FRONT, GL_SPECULAR, material_specular);
    ...
    glLightfv ( GL_LIGHT0, GL_POSITION, light_position0 );
    glLightfv ( GL_LIGHT1, GL_POSITION, light_position1 );
    glLightfv ( GL_LIGHT1, GL_POSITION, light_position2 );
    ...
    /* レッド */
    glMaterialfv(GL_FRONT, GL_DIFFUSE, material_color);
    drawFModel( &fCube );
    glFlush();
}
```

# まとめ

---

- ビジュアル情報処理
  - 2 モデリング
    - 2.3 曲線・曲面
- OpenGL
  - 色の取り扱い
  - シェーディング
  - 照明モデルと照光処理